

◆カメラと写真映像のワールドプレミアショー CP⁺ 2022 (シーピープラス 2022) 初のハイブリット開催！会場イベントは3年ぶりの実施

一般社団法人カメラ映像機器工業会 (CIPA) [代表理事会長：石塚茂樹、所在地：東京都港区芝浦 3-8-10 MA 芝浦ビル] は、CP⁺2022 (シーピープラス 2022) を、パシフィコ横浜での会場イベントと、公式ウェブサイトでのオンラインイベントのハイブリッド形式で開催する。会期は、会場イベントが 2022 年 2 月 24 日 (木) から 27 日 (日) までの 4 日、オンラインイベントが 2022 年 2 月 22 日 (火) から 27 日 (日) までの 6 日間 (2 月 22 日、23 日はプレ・イベント) となっています。10 年を超える CP⁺ の歴史で、初のハイブリット開催となり、会場イベントは 3 年ぶりの実施となる。

新型コロナウイルス感染症の影響は、依然予断を許さない状況が続いていますが、出展社からも来場者からもパシフィコ横浜での会場イベント開催を望む声は多く、この度、安全対策を最大限に実施した上で、3 年ぶりに会場イベントを行うことになった。

昨年開催されたオンラインイベントでは、4 日間合計の来場登録者数が 50,000 人を超え、会期後 1 カ月のアーカイブ公開期間を含めると約 90,000 人が参加した。また、カメラ映像機器分野において、世界でも有数のワールドプレミア (世界初発表製品) 発表の場として、毎年注目を集める CP⁺ ですが、昨年は 13 機種の新製品が発表された。

主催 コンテンツとして、『キーノートスピーチ』や『CIPA デジタルカメラマーケット・セミナー』のほか、伝統的な写真文化から最先端の映像技術までをカバーしたコンテンツを用意している。日経ナショナルジオグラフィック写真賞 第 1 回グランプリを獲得した写真家・前川 貴行氏、第 3 回グランプリを獲得した写真家・竹沢うるま氏をそれぞれお招きしたトークセッション『ドキュメンタリー写真とフォトストーリー』、映画監督・上田慎一郎氏によるト

ークセッションなどをオンライン配信する。

CP⁺2022 では、今年度の開催テーマを「いつだって、セカイは素敵だ。」に決定！新製品展示はもちろん、プロの写真家・カメラ愛好者やビジネスユーザーから、女性、初心者も、写真や動画を楽しく学べる企画を実施する。

最先端のタッチ&トライや、出展者とのコミュニケーションなど、会場イベントで楽しめる「出会いと体験の 4 日間」と、国内外のどこからでも、自分の好きなタイミングで参加できるという新しい魅力を持つオンラインイベントで「見つかる、わかる 6 日間」を体感できる。



カメラと写真映像のワールドプレミアショー

■会場イベント [パシフィコ横浜]

■オンラインイベント [公式ウェブサイト]

2022.2.24(木)~27(日) 10:00~18:00
10:00~17:00

2022.2.22(火)~27(日)

■主催 一般社団法人カメラ映像機器工業会 ■お問い合わせ CP+運営事務局

ハローダイヤル：050-5541-8600 (全日 9:00 ~ 20:00)

<https://www.cpplus.jp/>



開催概要 CP+2022 (シーピープラス 2022)

【会場イベント】

●開催日程 2022年2月24日(木)～27日(日)

10:00～18:00 ※最終日のみ17:00まで

※開催初日の9:20～9:50 オープニングセレモニーを実施。プレス関係者および招待者。

●会場 パシフィコ横浜 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

●入場料 無料 来場時 指定の事前登録制

※ご来場時には新型コロナウイルス感染症対策として、下①、②のいずれかのご提示が必要となります。

詳細は公式ウェブサイトをご確認ください。

① 72時間以内に取得したPCR検査の陰性証明(メール等の電子媒体を含む)

② ワクチン接種証明及び24時間以内の抗原検査の結果の両方

※12歳以下のお子様は①が必要となります。

【オンラインイベント】

●開催日程

[プレ・イベント] 2022年2月22日(火)～2月23日(水)

[メイン・イベント] 2022年2月24日(木)～2月27日(日)

[アーカイブ] 2022年2月28日(月)～3月31日(木)

●会場 公式ウェブサイト <https://www.cpplus.jp/>

●参加 無料 事前登録制(参加時間指定なし、人数制限なし)

※一度の来場登録で会場イベント、オンラインイベントのどちらにも参加できる。

来場登録開始 第1次募集 2022年1月20日(木) 14:00

第2次募集 2022年2月中旬を予定

公式ウェブサイトより登録。

●主催:一般社団法人カメラ映像機器工業会(CIPA)

●後援:経済産業省/観光庁/神奈川県/横浜市/浜商工会議所/日本貿易振興機構(ジェトロ) 予定

●特別協賛:公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー

●特別協力:日本カメラ博物館/日本新聞博物館/横浜美術館(予定)

●協力:公益社団法人応用物理学会/カメラ記者クラブ/東京写真記者協会/日本営業写真機材協会/一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会/一般財団法人日本カメラ財団/一般社団法人日本写真映像用品工業会/一般社団法人日本光学会/公益社団法人日本広告写真家協会/公益社団法人日本写真家協会/一般社団法人日本写真学会/協同組合日本写真館協会/公益社団法人日本写真協会/一般社団法人日本写真文化協会/一般社団法人日本電子回路工業会/日本フォトイメージング協会/一般社団法人日本望遠鏡工業会/パシフィコ横浜(50音順・予定)

●出展社数:会場イベント:31社 オンラインイベント:15社(1月19日現在)

●公式ウェブサイト <https://www.cpplus.jp/>

●一般からの問い合わせ先 info@cpplus.jp

出展社一覧

【会場イベント出展社一覧】

ATOMOS、Illume Designs、IDEX、VANLINKS、OM デジタルソリューションズ、キヤノン/キヤノンマーケティングジャパン、京立電機、ケンコー・トキナー、コシナ、サードウェーブ、サイトロンジャパン、シグマ、新東京物産、ソニー ソニーマーケティング、タムロン、TourBoxTech、東京印書館、常盤写真用品、ニコン ニコンイメージングジャパン ニコンビジョン、日本写真映像用品工業会、Nextorage、パイオテック、パナソニック、ビクセン、ファイヤーワークス、Phottix/Loupedeck、富士フイルム、ブラックマジックデザイン、マルミ光機、ルミカ、RAID(五十音順)

【オンラインイベント出展社一覧】

エプソン 売、OM デジタルソリューションズ、キヤノン/キヤノンマーケティングジャパン、サードウェーブ、サイトロンジャパン、Synology Japan、シグマ、ソニー ソニーマーケティング、タムロン、TourBoxTech、ニコン/コンイメージングジャパン/ニコンビジョン、Nextorage、パナソニック、ビクセン、富士フイルム(五十音順)

【会場イベント内フォトアクセサリアウトレット】

会場イベントの会期中、安全対策を最大限に実施したうえで、展示ホール内にて出展社によるフォトアクセサリに特化したアウトレットを実施。この機会にぜひ掘り出しものをお探しく下さい。

※ご購入時の支払い方法はキャッシュレス決済のみ。

出店社:VANLINKS、ケンコー・トキナー、サイトロンジャパン、新東京物産、常盤写真用品、マルミ光機、ルミカ(五十音順)

主催 コンテンツ

オンライン配信

●キーノートスピーチ

「動画とカメラの未来(仮)」

一般 団法人カメラ映像機器工業会(CIPA)

代表理事会長 石塚茂樹

(ソニーグループ株式会社 代表執行役 副会長)

2/22(火)10:00～11:00



オンライン配信

CIPA デジタルカメラマーケット・セミナー

「KING OF HOBBY 奪取宣言」

一般社団法人カメラ映像機器工業会(CIPA)

調査統計作業部

部会長 太田 学

2/22(火)11:00～12:00



オンライン配信

●ナショナルジオグラフィック日本版

CP+2022 特別オンラインセミナー

「ドキュメンタリー写真とフォトストーリー feat. 竹沢うるま氏」

写真家・竹沢うるま氏（第3回日経ナショナルジオグラフィック写真 グランプリ受賞）

【聞き手】ナショナルジオグラフィック日本版 編集長 大塚 茂夫氏

2/22(火)19:30～21:00



オンライン配信

●スペシャルトークセッション

「挑戦の「原点」と「ミライ」(仮)」

映画監督・上田 慎一郎氏

2/23(水)18:00～19:00



オンライン配信

●ナショナルジオグラフィック日本版 CP+2022

特別オンラインセミナー

「ドキュメンタリー写真とフォトストーリー feat. 前川 貴行氏」

写真家・前川貴行氏

(第1回日経ナショナルジオグラフィック写真賞 グランプリ受)

【聞き手】ナショナルジオグラフィック日本版編集長 大塚茂夫氏

2/23(水)19:30～21:00

上記のほかにも様々な企画をご用意します！



会場イベント

ZOOMS 受賞作品展示、「あなたが選ぶベストカメラ賞投票」といった展示や参加型イベントのほか、会場イベントの出展社インタビューをオンライン配信でお届けするなど、ハイブリッド開催ならではのコンテンツもご用意します。

オンラインイベント

「カメラ記者クラブ」、「関西写真部 SHARE」、「カメラガールズ」によるトークショー配信などプロの写真家・カメラ愛好者やビジネスユーザーから、女性、初心者も幅広く楽しめるコンテンツをご用意します。 ※プログラムは変更になる可能性があります。

キャンペーン企画

CP+2022では、今年度の開催テーマである「いつだって、セカイは素敵だ。」にちなんでTwitterキャンペーンを2022年1月20日(木)～2月18日(金)の期間で開催します！

CP+2022公式ツイッターアカウント(@cpplusjp)にて、みなさんにとっての「素敵なおセカイ」の写真を募集します。デジカメやスマホで撮った写真で

あなたの素敵なおセカイを大募集！

募集期間：2022年1月20日(木)▶2月18日(金)

いつだって、セカイは素敵だ。

ウィークリーベストピクチャー賞
応募写真の中から選考で毎週5名様に
Amazonギフト券 3,000円分 + あなたの写真をCP+で掲載

ラッキー賞
抽選で毎週20名様に
Amazonギフト券 1,000円分をプレゼント

CP+
CAMERA & PHOTO IMAGING SHOW
2022

も、誰でもに投稿してください。応募者には素敵なおプレゼントも当たります

【応募期間】

2022年1月20日(木)～2月18日(金) 23:59

【応募方法】

<ステップ1> Twitterから本公式アカウント「@cpplusjp」をフォローしてください。

※ご自身のTwitterアカウントは必ず「公開」に設定してください。

<ステップ2> 本公式アカウントからのキャンペーンツイートを「引用リツイート」していただき、あなたにとっての素敵なおセカイの「写真」と「#いつだってセカイは素敵だ」をつけて投稿してください。

※「リプライ」はご応募の対象になりませんのでご注意ください。スマートフォンのほか、タブレット及びPCからのご応募も可能です。尚、機種・ブラウザなどによってはご応募いただけない場合もございますので予めご了承ください。

【プレゼント内容】

★ウィークリーベストピクチャー賞

応募者の中から選考で毎週5名様(合計20名様)

プレゼント① Amazonギフト券3,000円分

プレゼント② 応募した写真をCP+で掲載(CP+公式ウェブサイト内やイベントセミナーの幕間のスライドショーなど各所で掲載させていただきます。予めご了承ください。

★ラッキー賞

応募者の中から抽選で毎週20名様(合計80名様)

プレゼント① Amazonギフト券1,000円分

【本キャンペーンに関するお問い合わせ先】

<https://tayori.com/f/cplusplus2022-cp/>

※本キャンペーンに関するその他の詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。

【公式ウェブサイト】<https://www.cpplus.jp/>



◆ソニー：バーチャルプロダクション常設スタジオを新設 映像表現の自由度を高めるバーチャルプロダクションの取り組みを拡充

ソニーは、LEDウォールを用いたバーチャルプロダクション^{*1}の取り組みをさらに加速するため、2月1日に開設する新たなクリエイティブ拠点「清澄白河 BASE」にバーチャルプロダクション常設スタジオを新設する。

スタジオ新設にあわせて、ソニー・ミュージックレーベルズ所属アーティスト、SixTONES（ストーンズ）の音楽映像コンテンツをバーチャルプロダクションで撮影する予定。

ソニーは、グループ横断の新規事業探索活動（コーポレートプロジェクト）を通じて、各社の強みを生かしながら相互に連携し、バーチャルプロダクションに関する取り組みを日米で拡充している。人が集まることや移動が制限される中、映像制作業界においては、時間や場所の制約にとらわれず撮影可能なバーチャルプロダクションへの期待が高まっている。新たなクリエイティブ拠点での映像表現の自由度を高める新しい表現手法やソリューションの開発・提供を通じて、クリエイターの思いを形にし、感動を届けることをサポートしていくとしている。

^{*1}：LEDウォールを用いたバーチャルプロダクションとは、大型LEDディスプレイ、カメラトラッキングとリアルタイムエンジンを組み合わせた撮影手法のひとつ。3DCGを中心としたバーチャル背景を大型ディスプレイに表示し、現実空間にあるオブジェクトや人物を、カメラで撮影することで、後処理なくCGと実写を組み合わせた映像制作を実現する。

◆ソニー PCL「清澄白河 BASE」を開設

先端技術による新たな映像表現手法の発信拠点

ソニーピーシーエル株式会社（以下、ソニー PCL）は、先端技術による新たな表現手法や体験を生み出し発信する場として、「清澄白河 BASE」（住所：東京都江東区石島 2 番 14 号）を 2022 年 2 月 1 日よりオープン。

「清澄白河 BASE」は、ソニーの Crystal LED B シリーズを使用した国内初^{*注}となる常設のバーチャルプロダクションスタジオをはじめ、先端技術を活用した制作機能を備えるソニー PCL の新たなクリエイティブ拠点です。

CM、映画、ドラマ、ミュージックビデオからオンラインイベントまで幅広いジャンルの映像コンテンツ制作をはじめ、高精細映像のニーズが高い企業のデザイン部門やマーケティング部門などのエンタープライズ領域向けのコンテンツ制作にも取り組むとともに、



ソニーグループ株式会社やソニー株式会社、ソニーイノベーションスタジオ（米国）との連携を通じてバーチャルプロダクションによる制作ソリューションの拡充も進めていくとしている。

ソニー PCL が持つ様々な映像制作のノウハウや技術を活用した表現手法と制作ワークフローの提供および研究開発を通じて、映像制作者やクリエイターの思いを形にするためのクリエイティブワークを実現していく。

^{*注} 2022 年 1 月 24 日現在、ソニーの Crystal LED を導入した国内のバーチャルプロダクションとして。

「清澄白河 BASE」概要

■ソニーが開発した高画質 LED ディスプレイ、Crystal LED B シリーズを導入

解像度 9,600 × 3,456 ピクセル（横 15.2m × 高さ 5.4m）の Crystal LED B シリーズ（LED 画素ピッチ 1.58 ミリ）を曲面状に配置し、高精細な映像を高輝度・広色域・高コントラストでバーチャルプロダクションに最適な画像をリアルに描き出します。照明の反射を抑える低反射コーティングと広い視野角は、自由なカメラワークでの撮影を可能にする。

■ソニーの CineAlta カメラ『VENICE』を装備

高解像・広色域に対応し、幅広い輝度条件下で豊かな階調表現が可能なデジタルシネマカメラ『VENICE』を設置している。Crystal LED との組み合わせは、色再現や階調表現における親和性が高く、編集作業の軽減とクオリティの高い映像制作を実現する。

■スタジオ天井に解像度 1,008 × 1,008 ピクセル（横 7m × 高さ 7m）の LED パネルを設置し、環境光として自然でリアルな被写体への映り込み表現を実現

■床面積約 760 m² の車両撮影に対応したスタジオ環境

自走式駐車場からスタジオへの乗り入れが可能。

■ソニー PCL の各制作拠点との連携による人材・制作環境の拡張や新しいワークフローの提案・提供が可能

■控室、シャワールーム、ミーティングルームなどのユーティリティスペースを設置

【本件に関するお客様からの問い合わせ先】

ソニー PCL 株式会社 クリエイティブ部門 ビジネスプロモーション部
電話：03-5792-9424
〒141-0031 東京都品川区上大崎 2-13-17

◆ゼンハイザージャパン：MKE 400-II、MKE 400-II Mobile Kit 発売

ゼンハイザージャパン株式会社（代表取締役 宮脇 精一）はクリエイターやビデオグラファー、モバイルジャーナリストが動画の音質を向上させるオンカメラマイク MKE 400-II と、スマートフォンクランプおよびミニ三脚を付属した MKE 400-II Mobile Kit を 1 月 27 日（木）より発売した。



多くの人に愛されてきた MKE 400 をこの新しい MKE 400-II にモデルチェンジした。

新しい MKE 400-II は、ボリュームコントロール付きのヘッドホンモニター出力、ショックマウントおよびウインドプロテクションを内部に標準搭載、自動オン/オフ機能（要プラグインパワー）を備え、さらに豊富なアクセサリが付属している。

特徴

- ▶ コンパクトで指向性の強いスーパーカーディオイドのショットガンマイクロホンにより動画音質を強化
- ▶ ウインドプロテクションとショックマウントを内蔵しハンドリングノイズを低減
- ▶ 内蔵のローカットフィルターと 3 段の感度切り替えにより、あらゆる環境下で柔軟にコントロール可能
- ▶ オーディオモニタリング用のボリューム調整機能付きヘッドホン出力端子を搭載
- ▶ デジタル一眼レフやミラーレスカメラに接続すると自動的に電源がオン/オフ（要プラグインパワー）

オーディオのアップグレード

1. 指向性の強いオンカメラショットガンマイクロホン

MKE 400-II は、コンパクトで指向性の強いオンカメラショットガンマイクロホンで特に動画の音質を向上させるために設計された。MKE 400-II の指向性は、音響干渉管によって実現されており、カメラが向いている方向からのピックアップを確保しクリアな音質を実現する。

2. 風切り音やハンドリングノイズからの保護

MKE 400-II はショックマウントカプセルを採用しハンドリングノイズを最小限に抑えている。

MKE 400-II はウインドプロテクション（風防）とショックマウント（衝撃吸収）を内蔵し、高品質の録音を実現するため機能をさらに充実させています。ウインドプロテクションはハウジング内部にメッシュレイヤーを一層設けることにより本体だけでノイズ対策を可能とします。さらに付属のウインドシールドを装着すると、より高い防風効果を得ることができます。また、ローカットフィルターを搭載しているので、エアコンの音や風切り音など、気になる低音域を軽減減することができます。

3. サウンドを自在にコントロール

音声を録音する際に最も重要なことのひとつは、レベルチェックとサウンドのモニタリングです。MKE400-II には、ローカットフィルターと 3 段階の感度スイッチが装備されており、撮影時に遭遇するダイナミクスに対応し、サウンドを微調整できるだけでなく、ヘッドホンモニタリング出力と 8 段階のデジタルボリュームコントロールも内蔵されています。3.5mm ジャックのヘッドフォンを MKE 400-II に直接接続することで、撮影中にレベルやオーディオパフォーマンスを簡単に確認することができます。

4. 手動または自動での電源オン/オフ

MKE 400-II は、デジタル一眼レフカメラやミラーレスカメラに接続すると、カメラと一緒に自動的に電源のオン/オフが行われます（要プラグインパワー）。カメラが起動すると同時にマイクの準備が整い、撮影していないときの省エネにも役立ちます。電源検出機能は、多くのスマートフォンモデルにも対応しており、MKE 400-II を取り外すと自動的に電源が切れます。また、手動の電源ボタンも用意されており、誤操作を防ぐためのオフディレイ機能（電源オフ時）も備えています。

5. 通常使用に十分な動作時間と付属品

MKE 400-II は、単 4 電池 2 本でマイクを駆動し、最大 100 時間の連続音声録音が可能です。また、電池が切れる 3 時間前には、電池残量表示が視認でき、撮影終了までの時間を十分に確保できます。

6. 小さなパッケージの重要性

多くの機能をマイク内部に標準搭載したことでカメラバッグの中だけでなく、カメラ本体にもスペースができ、他のアクセサリを



MKE 400-II の構造

併用することができます。アクセサリといえば、MKE 400-IIのケーブルはコイルの形状であるため、邪魔にならず、撮影中もしっかりと接続されています。



フルコントロール
MKE 400-IIに内蔵されたボリュームコントロール付きヘッドフォンモニター出力で、レベルやオーディオパフォーマンスを簡単にチェックできます。

付属品



左から スマートフォン用3.5mm TRRSケーブル、カメラ用3.5mm TRSケーブル、ウインドシールド、ポーチ

MKE 400-II Mobile Kit - モバイル環境での創作活動に貢献



MKE 400-IIには、ゼンハイザーのスマートフォン用クランプとマンフロットのPIXI ミニ三脚をセットにしたMKE 400-II Mobile Kit もご用意した。

MKE 400-II Mobile Kit

制作過程の一部またはすべてでスマートフォンを使用するクリエイターに最適です。オーディオに関するあらゆるニーズを満たすように設計されているためすぐに使えるパッケージとなっており、多目的に活用することができます。

MKE 400-II Mobile Kit 同梱物



製品ラインナップ

型番	Art No.	EAN (JAN)	品名	標準価格
MKE 400-II	508808	4044155251739	オンカメラマイク	オープン価格 ※参考価格 26,000円(税別) 28,600円(税込)
MKE 400-II MOBILE KIT	509257	4044155259018	オンカメラマイク モバイルキット	オープン価格 ※参考価格 31,000円(税別) 34,100円(税込)

スペック

	MKE 400-II	MKE 400-II Mobile Kit
トランスデューサー		エレクトレットコンデンサー
周波数特性		50 - 20,000 Hz
指向特性		スーパーカーディオイド
感度 (無負荷, 自由音場, 1 kHz)		-23 / -42 / -63 dBV/Pa
最大音圧レベル		132 dB SPL
接続コネクタ (マイク)		3.5mm ロッキングジャック
接続コネクタ (ヘッドホン)		3.5mm ジャック
重量 (マイク本体のみ)		約 93.5 g
電源		単4電池 2本 (付属)
寸法 (マイク本体のみ)		124 x 47 x 37 mm
付属品	ロッキングTRS-TRSコイルケーブル ロッキングTRS-TRSコイルケーブル ウインドジャマー、ポーチ	ロッキングTRS-TRSコイルケーブル ロッキングTRS-TRSコイルケーブル ウインドジャマー、ポーチ スマートフォンクランプ マンフロットPIXIミニ三脚

クリエイターには、自分のペースに合わせて、視聴者にとって魅力的なコンテンツをデザインできるツールが必要です。MKE 400-II および MKE 400-II Mobile Kit は、オーディオのプロが信頼するブランドの動画制作用マイクロホンとして、クリエイターが探し求めていたソリューションです。

▶ 発売日：1月27日(木)

データ

▶ ウェブサイト：<https://ja-jp.sennheiser.com/mke-400>

<https://ja-jp.sennheiser.com/mke-400-mobile-kit>

▶ メディアキット：<https://bit.ly/2Wsh8G0>

型番表 について

MKE 400-II および MKE 400-II Mobile Kit 以下、MKE 400-II は日本国内流通用の型番です。

パッケージにはMKE 400-IIであることを示す表記がされていますが、製品の添付資料、ウェブサイト、SNS、カタログ、各種料、広告などの文字、画像、動画表記等ではMKE 400 および MKE 400 Mobile Kit が使用されている場合があります。

製品問い合わせ先：

ゼンハイザージャパン株式会社 プロオーディオ事業

<https://ja-jp.sennheiser.com/proaudio>

PR お問い合わせ 新井

yasushi.arai@gmail.com

◆ブラックマジックデザイン：Netflix 映画「レッド・ノーティス」、DaVinci Resolve Studio でグレーディング



カリフォルニア州フレモント - 国際犯罪アドベンチャー、「レッド・ノーティス」は、FBIのプロファイラー、ジョン・ハートリー（ドウェイン・ジョンソン）が、美術品泥棒、ノーラン・ブース（ライアン・レイノルズ）を追う姿を描く。「クレオパトラの卵」と呼ばれる3つの値千金の美術品を盗もうとするミステリアスな美術品泥棒、「ビショップ」（ガル・ガドット）を捕らえるため、ハートリーは、ブースと手を組むことに。同作は、ローマ、バレンシア、アルゼンチンのジャングルなど、世界中のエキゾチックなロケーションでASCのマーカス・フェルデラー（Markus Forderer）氏によって撮影された。

プロットは非常に国際的なものであったが、同作の撮影スケジュールがコロナ禍と重なったことで、国をまたぐ移動、ましてや映画撮影のための移動が不可能となった。「同作は世界中が舞台となっていますが、撮影方法を考え直す必要がありました。」フェルデラー氏は語る。「国をまたぐ移動ができないため、結局はアトランタの巨大なステージとバックヤードに、セットの大半を作ることになりました。セットで撮影したシーンには、エスタブリッシング・ショットを挟み込みました。これらのエスタブリッシング・ショットは、世界中の実際の場所で、少人数の撮影クルーによって撮影されたものです。」

メインの撮影と、VFX、そしてフィニッシングで、各シーンを構成する様々なエレメントや単一のショットを完璧にマッチさせることが 題となった。「カラーや照明をシームレスにブレンドすることは大変な仕事です。」Company 3 のカラリストであるウォルター・ヴォルパット（Walter Volpatto）氏とプリプロダクション

の段階から一緒に対策を練っていたフェルデラー氏は語る。「ウォルターは、これらのエレメントを組み合わせ、VFX ショットと実際のライブアクションをマッチさせる優れた目を持っています。この作業はトリッキーですが、私の経験から言うとは非常に重要なステップです。VFX ショットがどれほど素晴らしくても、実際のカメラで撮影したような映像にするためには、グレーディングで何かしら手を加える必要があります。フレアやエッジコントラストなど、特定のレンズの特性をエミュレートしています。」

ヴォルパット氏とフェルデラー氏は、これまでに5作を共同で制作しているので、コラボレーションワークには慣れているという。「私はマーカスの仕事のスタイルと進め方が好きなんです。」とヴォルパット氏。初期の話し合いにおいて、フェルデラー氏とローソン・マーシャル・サーバー Rawson Marshall Thurber 監督は、スクリプトの素晴らしい撮影場所を補完するために、赤、ゴールド、ブラウンのトーンのカラーパレットを用意した。ヴォルパット氏によると、2つの具体的なシーンがこれらのルックの誘因になったという。



「アクションの多くは、『赤い部屋』で起きています。」同氏は続ける。「この 屋とガル・ガドットのドレスは、まさに純粋な赤です。一方、ロシアの刑務所はこの真反対で、文字通り "寒い" 場所なので、冷たいカラーパレットを使用しています。この 2 つのカラーが、作品全体を通じて強調されているんです。」ヴォルパット氏とフェルデラー氏は、初期のカメラテストで同作用の単一の LUT を DaVinci Resolve Studio で作成した。これは様々なトーンの実現に役立ったという。

「私たちは事前に Resolve でルックを用意しておく方法を採用しています。この方法だと、マーカスはオンセットでカスタマイズされたフィルムを使用しているかのように撮影することができ、数の LUT を使用する代わりに、単一の LUT の特徴だけを考慮して照明を設定できます。」ヴォルパット氏は続ける。「マーカスが確認するのは露出計と照明だけで、モニターをチェックする必要すらありません。」

これは、かつての映画監督たちが行っていた撮影に いですね。つまり、特定のフィルムにしてあらゆる知識を持ち、そのフィルムで 分たちが求めるルックを得る方法を知り尽くしているんです。最終的なグレーディングでは、私たちは一緒に作業してシーンのディテールを 整したのですが、イメージの全体的な属性を予め設定していたので、最終的なグレーディングでルックを一から作り直す必 はありませんでした。」

コロナ禍で撮影スタイルの変更を余儀なくされたことにより、グレーディングなどあらゆる作業において新たな 題が生じたという。「主 な出演 全員で一つの現場で撮影し、それが終わると次の現場に移るという方法ではなく、別々の場所で撮影することもありました。」ヴォルパット氏は続ける。「ロケ先で撮影したシーンもありますが、コロナ禍になってからは様々なエレメントをアトランタで撮影しました。そして他のシーンやピックアップショットを加えていったんです。」

この方法で撮影を行なった結果、当初の見積もりよりもはるかに多くの VFX が必 となった。「時にはエキストラなしで撮影して後からエキストラだけを撮影し、それらの映像とバックグラウンドのエフェクトを合成する必 がありました。」とヴォルパット氏。このアプローチは、スケジュールにも影 した。「他の俳優が忙しいため、俳優一人だけで撮影することもありました。例えば、まずガル・ガドットのショットをすべて撮影して、次にドウェイン・ジョンソンのショットを撮影し、後からこれらを組み合わせました。」



VFX で多くの合成を行う一方、ヴォルパット氏はエレメントをブレンドし、VFX ショットとその他のショットをシームレスに させた。「非常に美しいショットを撮影したとしても、周囲の素材とブレンドするための作業が必 になります。私たちがカラーの作業を行なっている最中に多くのエレメントが VFX で処理されて られてきますが、同じシーン内でも数ヶ月前に撮影されている 分があるので、いくつかのツールを使用してルックを 整しました。」

DaVinci Resolve Studio を使用することで、ヴォルパット氏は P3 フォーマットのプロジェクトを作成する一方で、HDR を即座にレビューすることも可能であった。「Resolve のカラースペース変換のおかげで、文字 り 2~3 回クリックするだけで、同じイメージを P3 と HDR で確認できました。このため、一つのシーンのカラーコレクションを行い、その後直ぐに HDR でレビューして 必 な修正を加えることができました。」とヴォルパット氏。

また、社内のコラボレーションツールを使用することで、膨大な量のピックアップショットや VFX を受け取り続けながらも、ヴォルパット氏は効率よくスピーディに作業できたという。「フィニッシング担当のエディター、クリス・ドエル Chris Doerr と私は、Resolve で同じプロジェクトで作業していました。クリスは、置き換えるショットにフラグを付け、代わりにのショットをドロップして細かい VFX の作業を行います。彼のワークステーションでは REC.709 バージョンにしかアクセスできませんが、私は新しいショットを直ぐにシアターで確 できます。カラースペース変換を使用することで、REC.709、P3、HDR で確 できます。LUT を使用したり、ノードツリーに手を加える必 はありません。カラースペース変換で出力を 整するだけなので、非常に効率的ですね。作業の手を止める必は一切ありませんでした。」ヴォルパット氏は最後こう結んだ。

「レッド・ノート」は、現在 Netflix で配信中。



会社概要

Blackmagic Design は、映画、ポストプロダクション、放送業界に向けて世界最先端のビデオ編集製品、デジタルフィルムカメラ、カラーコレクター、ビデオコンバーター、ビデオモニタリング、ルーター、ライブプロダクションスイッチャー、ディスクレコーダー、波形モニター、リアルタイム・フィルムスキャナーを開発している。Blackmagic Design の DeckLink キャプチャーカードは、その品質と価格で放送業界に革命をもたらした。また、エミー™ 賞を受賞した DaVinci カラーコレクションシステムは、1984 年以降、テレビ、映画業界の中心となっている。Blackmagic Design は、現在も 6G-SDI、12G-SDI 製品、ステレオスコピック 3D、Ultra HD ワークフローなどの独創的な革新を続けている。世界をリードするポストプロダクションエディターやエンジニアにより設立された Blackmagic Design は、現在アメリカ合衆国、イギリス、日本、シンガポール、そしてオーストラリアにオフィスを構えている。詳細は www.blackmagicdesign.com/jp。